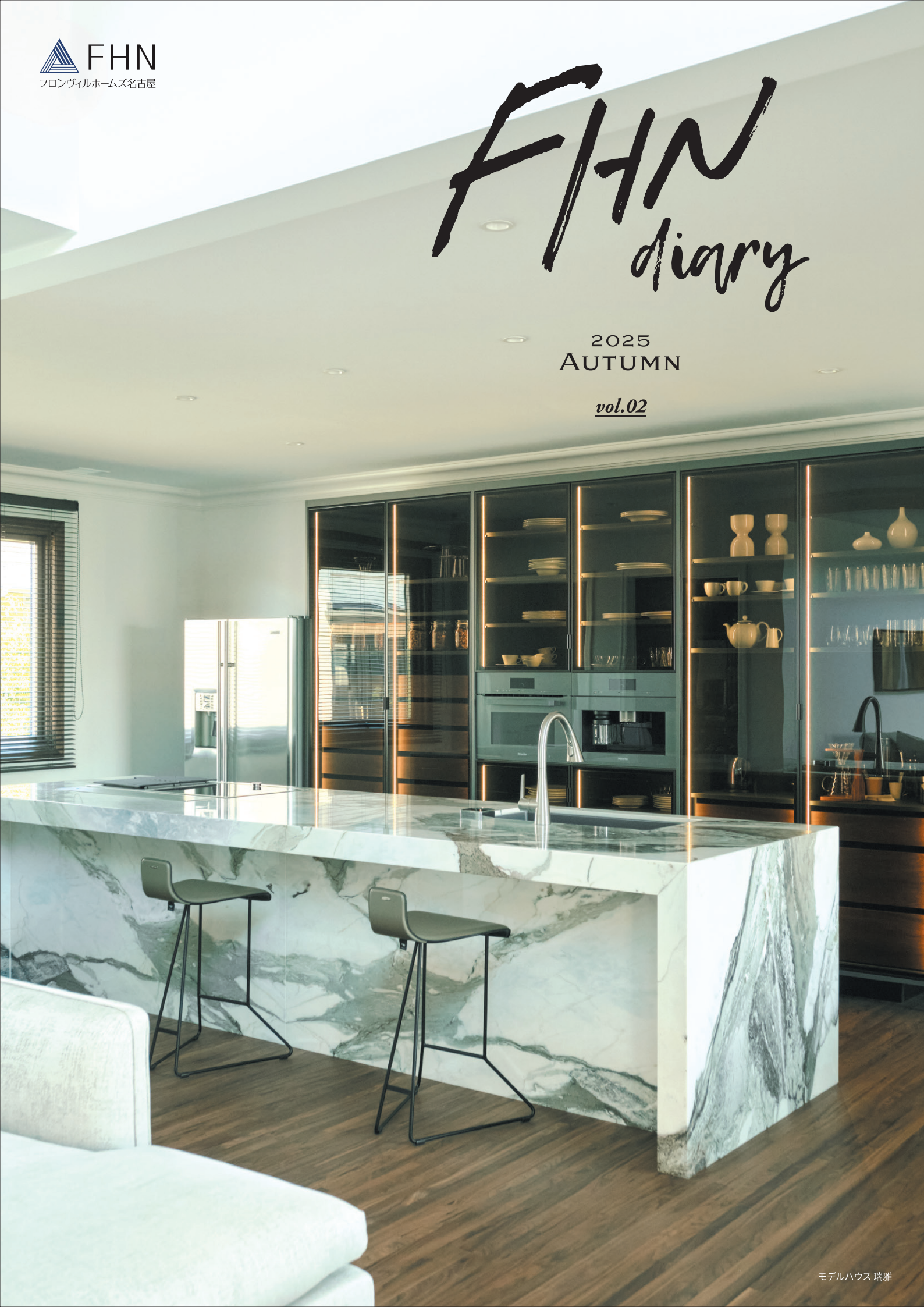


FHN diary

2025
AUTUMN

vol.02



モデルハウス 瑞雅

作家／吉田佳代子 タイトル／つむぐゝ 制作年／2023年 素材／和紙、リトグラフ、コラージュ、額装 写真／日出真司



版画家・吉田佳代子によるリトグラフ。平面に宿る無限の世界観を繊細な線で描き出しています。
同空間に、オランダのデザイナー Rick Tegelare によるシャンデリア（Meshmatics）照明。
天井に広がるワイヤーメッシュの放射模様が、アート作品の線の重なりと呼応し、空間に美しい調和を生み出しています。



FHN diary vol.2

2025年11月1日発行 発行元／フロンヴィルホームズ名古屋 名古屋市昭和区上山町4丁目3番地2 TEL.052-890-9630



トータルコーディネーター青木和子さんによる、

季節飾りのレッスン



完成イメージ

開催日時

2025年 **11/28** 金

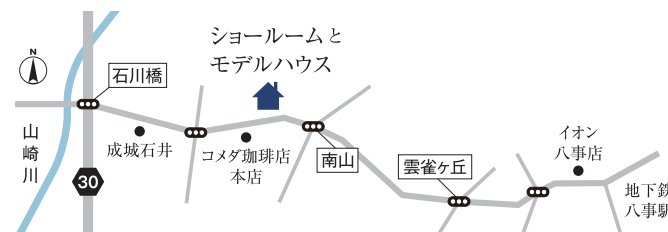
1部/AM 10:00～12:00 2部/PM 2:00～4:00

会場は
こちら

モデルハウス瑞雅
名古屋市昭和区上山町4丁目3番地2
P敷地内駐車場あり

■参加費:3,000円

ご予約は電話または予約フォームから →
TEL.052-890-9630



ご予約の際に、「クリスマス飾り」または「正月飾り」かをお選びください。

築36年の建物見学と 午後のお茶会 — 時を重ねて美しく —

フロンヴィルホームズ名古屋が手掛けた木造ツーバイフォー住宅が、
いま新しいご家族へと住み継がれようとしています。

山の上に建ち、風がめぐる眺めのよいロケーションは、まるで別荘のような静けさとぬくもりに満ちています。
世界遺産・トーマス・ジェファーソン邸「モンティチェロ」の応接間と同じ意匠の寄木細工を採用した邸宅。
経年の美しさを語る建物ガーデンを、お茶とともにお楽しみください。



トーマス・ジェファーソン邸「モンティチェロ」



開催日時

2025年 **11/23** 日 PM 1:00～3:00

ご予約は電話または予約フォームから →
TEL.052-890-9630



会場

日進市南山エビック内（ご予約後に詳細をご案内いたします）

建物を知るからこそできる、マイホーム売却のお手伝い

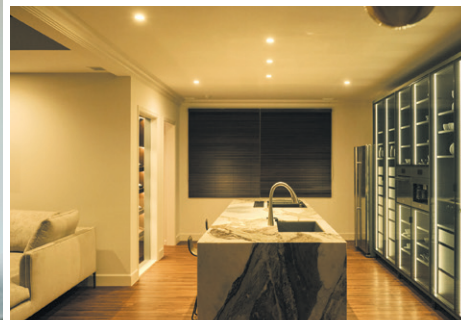
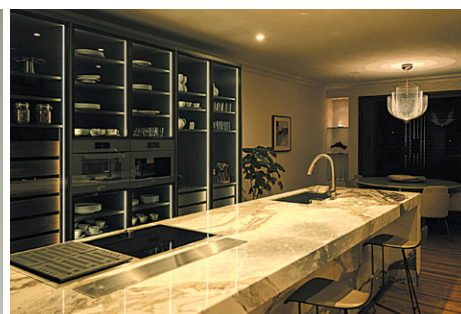
フロンヴィルホームズ名古屋では、オーナー様の不動産売却仲介も承っております。
長年にわたり点検・メンテナンスを行ってきた建物だからこそ、その価値を正しく理解し、
責任をもって次のご家族へとつなげていきます。



ドイツ・ミーレ社の最新オープンレンジ、コーヒーマシン、食洗機をビルトイン施工。
SANEIの予洗水栓を初導入。全ての機器を実際に使用体験いただけます。



換気扇にはドイツ・ガゲナウ社製のプッシュアップ式を採用し、
IHとの一体感あるフラットなデザインに仕上げました。



収納内部にはLEDライン照明を設け、シーンに合わせて点灯をコントロール。ウォークインのワインセラーには、
風や音、振動を伴わずに放射と自然対流で温度を安定させる冷房装置PSを採用しました。
ワインの熟成や野菜の鮮度保持に最適な、やさしい保冷環境を実現しています。

※原石から隣り合わせに切り出し、本を開いたように左右対称になるように貼り合わせたもの

瑞雅

Z U I G A



シリーズ モデルハウス 瑞雅

Pickup

キッチン

伝統的な美的理念を尊重しながらも、新鮮で若々しい感性を取り入れた、
クラシックとモダンの融合をコンセプトにしたモデルハウスです。
キッチンは直線の美を際立たせたシャープな設計デザイン。
設備機器はすっきりと見せるアイテムで構成。
アイランドカウンターにはカルカット大理石をブックマッチングし、
大理石が描く鏡像の模様を贅沢に愉しめます。



オーナーズライフ

OWNER'S LIFE

丸とリズムに包まれた、
感性の住まい



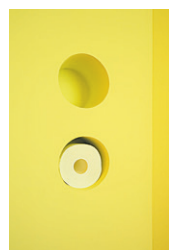
3歳の鶴ちゃんと、
オレンジ色の屋根裏部屋で



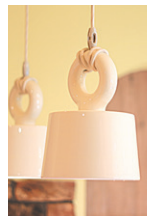
下駄箱の背面は、藍と白のタイルを市松模様に。
アーチ開口側面は、ガウディ建築にみるような
破砕タイル。玄関框の蹴込部分には
3色のモザイクタイル。



12拍子のリズムを刻むフラメンコにちなみ、ニッチの穴は12個。
幸代さんが画用紙に描いたラインをそのまま職人が形にしました。



トイレトペーパー
収納用の丸い穴



IDÉEのカウベル型の
ペンダント照明



スタジオ名の「AGUA Y FUEGO」(アグアイフエゴ)はスペイン語で「水と火」。
火のように熱く激しく、水のように美しくしなやかに…との思いが込められています。



AGUA Y FUEGO

「こんな素敵な家に住んでいることが幸せで、感謝しかないんです」と微笑む幸代さん。2015年に竣工した、フラメンコダンサーである彼女の感性があふれる「アートな住まい」。自宅兼ライブハウス＆スタジオというユニークな空間には、やわらかな曲線とリズムが息づいています。

もともと塑像作家だった幸代さんがフラメンコを始めたのは、1992年のこと。「フラメンコダンサーを題材に像を作りたい」と思い、自ら踊ってみたのがきっかけでした。カナダの芸術大学に通いながら舞踊団に所属し、各地で公演。スペイン留学も経験し、表現の世界を深めてこられました。

そんな彼女が作り上げたスタジオは、「母の胎内」をイメージした空間。2色の塗料をマブル状に重ねた壁は柔らかな生命のゆらぎを感じさせます。通常ライブ用ステージは、派手な衣装が映えるように黒い壁が定番ですが、あえて明るい色調を選択。ステージに欠かせない椅子も、木製の質感を優先してセレクト。空間の随所に、幸代さんならではの美学が息づいています。

丸や曲線、市松模様、水玉模様のモチーフ。家じゅうの隅々にまで、幸代さんの好きな形や色、素材が散りばめられています。つまみ、取っ手、アイアンの小物、ティーポット型の照明など、自ら集めたお気に入りが入り込んで溢れます。「家づくりの打合せが本当に楽しかった。やりつくしました!」と仰るその表情は、今もまるで創作の途中のよう。

芸術と暮らしが響きあう「幸代さんの家」には、今日も穏やかなリズムが流れています。

「こんな素敵な家に住んでいることが幸せで、感謝しかないんです」と微笑む幸代さん。2015年に竣工した、フラメンコダンサーである彼女の感性があふれる「アートな住まい」。自宅兼ライブハウス＆スタジオというユニークな空間には、やわらかな曲線とリズムが息づいています。

もともと塑像作家だった幸代さんがフラメンコを始めたのは、1992年のこと。「フラメンコダンサーを題材に像を作りたい」と思い、自ら踊ってみたのがきっかけでした。カナダの芸術大学に通いながら舞踊団に所属し、各地で公演。スペイン留学も経験し、表現の世界を深めてこられました。

そんな彼女が作り上げた



〈東白壁クリニック〉



おなか内科
東白壁クリニック

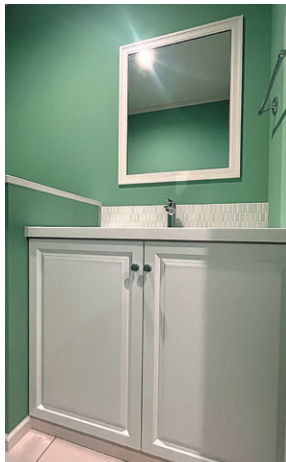


手とリハビリと整形外科
東白壁クリニック



愛知県産の優良木材「あいち認証材」を採用してメディアでも紹介された、東区の東白壁クリニック様。愛知県初のツーバイフォーとCLTを組み合わせた木造3階建て、内科と整形外科の複合クリニックです。

〈世界の感性を住まいに —陽だまりの平屋— 〉



お仕事などで世界中を飛び回るお施主様の邸宅が完成しました。モデルハウスや実際の建物をいくつも見たい、海外滞在中は、オンラインでの打合せを重ねながら、理想の住まいが形になりました。外観の掲載は、お施主様のご希望により控えさせていただきます。



侶居



稲垣洋介作品展「Land II」展示の様子

FHN's
Style
Spot

STORY.02

暮らしの中のアートプランナー
日出秀美(旧姓 豊崎)さん

旧姓を聞いて懐かしく思い出されるオーナー様も多いのではないのでしょうか。
1988年から当社でインテリアコーディネーターとして活躍。多くの施主様との出会いの中で学び、育てていただいたと当時を振り返られます。
結婚を機に東京へ拠点を移し、フリーランスとして多様なインテリア関連の仕事に携わりながら、グローバルなデザインワークも経験されました。
現在は四日市に戻り、築70年のご実家の町家をリノベーションして、ご夫婦で現代アートのギャラリー「侶居(ろぎょ)」を運営。住空間やホテル、商業施設のアートコーディネートも手掛けていらつやいます。
「空間にアートが入ると一気にオリジナリティが生まれます。そして好きなアートがあると、心が豊かになります」と語られるように、暮らしにアートがもたらす彩りを大切に活動されています。

2025
AUTUMN

モデルハウス瑞雅では、さまざまな分野の講師をお招きし、暮らしと季節を楽しむ文化教室を定期的に開催しています。暖炉を愉しむイベントも予定していますので、ぜひご参加ください。住まいも冬支度を整えていきましょう。

PICK UP
道草日記

